

令和2年度予算編成方針

令和2年度事業計画策定及び予算編成にあたって

本市においては、人口減少に対応し、かつ持続的な発展を目指すため、未来に向けた成長戦略を着実に実行し成果を挙げていくことが求められている。

また職員は、市民がさらに暮らしやすいまちづくりとは何かを常に考え、前例にとられない発想で市民福祉の向上に力を尽くさなければならない。

現下の財政状況は類似団体と比して大変厳しく、特に負の遺産の象徴であった土地開発公社解散に伴う起債の償還が完了するまでは、全職員の強い意志と責任感を持って困難を乗り越えて行かなければならない。

一方、長年取り組んできた行財政改革により一定の成果が認められるものの、さらなる既存事業の見直しが必要とされている。

そこで、令和2年度の予算編成にあたっては、まず既存事業の今日的意義や役割、手法の適正性や民間での代替可能性等について改めて見直しを行うとともに、特に類似団体における行政運営に積極的に学びを得て、真に明日の市民生活に寄与すると強く確信を持てる事業に絞り込み、事業計画の提案とそれに伴う予算要求を行うことを求める。

特に、以下の点を意識して取り組むこと。

- ①職員として自覚を持ち、市民の立場になって、市民の暮らしや現場の声を我が事として受け止め、その改善に情熱を持って臨むこと
- ②EBPMの考え方をしっかりと理解し、各所属長が明確な根拠を持って、自らの言葉で事業や予算を語れるようにすること
- ③見直すか否かの判断は、目先の業務負担や諸々の調整に労を惜しむことなく、将来の担当者が働きやすくなることに思いを馳せること
- ④各部局の部分最適を目指すのではなく、庁内横断の協力関係を積極的に築き、市役所全体で一つの大きな価値を生み出すこと